

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05010080

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	B	
単位施策	3 母子保健・女性の健康支援の充実	政策事務分類	4 法定自治事務	
事業名	予防接種事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町	関係課	14 国保病院	
事業指標	定期予防接種平均実施率		#N/A	
事業目標	80%	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	有	関係例規・法令名	有 予防接種法	
住民協働	事業の利用による健康管理の実践	関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計画 内容	予防接種法に規定される定期予防接種を実施し 感染症予防と町民の健康保持を図る	<ul style="list-style-type: none"> 定期予防接種の実施 (三種混合、ポリオ、麻しん風しん、BCG、二種混合、インフルエンザ) 任意予防接種への費用助成 (肺炎球菌、子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌) 	<ul style="list-style-type: none"> 定期予防接種の実施 (三種混合、四種混合、麻しん風しん、BCG、二種混合、インフルエンザ、ポリオ、成人用肺炎球菌、子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘) 	<ul style="list-style-type: none"> 定期予防接種の実施 (三種混合、四種混合、麻しん風しん、BCG、二種混合、インフルエンザ、ポリオ、成人用肺炎球菌、子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘) 	<ul style="list-style-type: none"> 定期予防接種の実施 平成28年定期接種追加～日本脳炎定期接種内容 【季節型インフルエンザ、肺炎球菌感染症(高齢者)、子宮頸がん予防、ヒブ感染症、小児肺炎球菌、ジフテリア、百日咳、破傷風、ポリオ、結核(BCG)、麻しん風しん、水痘、日本脳炎】 	<ul style="list-style-type: none"> 定期予防接種の実施 定期接種内容 【季節型インフルエンザ、肺炎球菌感染症(高齢者)、子宮頸がん予防、ヒブ感染症、小児肺炎球菌、ジフテリア、百日咳、破傷風、ポリオ、結核(BCG)、麻しん風しん、水痘、日本脳炎】
	計画 事業費	事業費(千円)	48,696	7,500	7,380	7,320
実績 事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	1,240	248	248	248	248
事業費(千円)	27,549	7,575	5,504	5,640	8,830	0
関連 事項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	北海道後期高齢者医療広域連合長寿・健康増進事業特別対策補助金	【評価・実績】	・四種混合他定期予防接種の実施 被接種者数 延1,274名 平均接種率 86.8%	・四種混合他定期予防接種の実施 被接種者数 延1,200名 平均接種率 108.1%	・乳幼児等被接種者数 延べ 1218名	・定期予防接種の実施 被接種者数 延べ 1,882名
	北海道後期高齢者医療広域連合すこやか推進事業補助金		・高齢者肺炎球菌費用助成 被接種者数 208名 接種率 15.2%	・高齢者肺炎球菌 被接種者数 104名 接種率 39.2%	・高齢者インフルエンザ接種者 533名	・高齢者インフルエンザ接種者 578名
	国保一般被保険者保健事業負担金		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	・高齢者肺炎球菌被接種者数120名 接種率41.1%	・高齢者肺炎球菌 87名 接種率 31%
	前期計画からの継続 (継続有り)		年度目標値	80%	80%	80%
第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率		101%	75%	77%	67%
	全体達成率	16%	27%	38%	57%	
	備考欄					

事業名	予防接種事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	保健係長	河原 真由美

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	定期予防接種対象となる町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	定期予防接種の平均		
【抱える課題やニーズは】	個人及び地域における感染症の流行を防止する。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	予防接種により、予防可能な感染症の発症を防止することができる。		① 定期予防接種の平均(MR2期+2種混合+肺炎球菌)前年比	目標年度	平成28年度
				目標値	80.3%
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	個人及び地域での感染症の流行を防止し健康を保持することができる。	②	実績値	77%	
			達成度	95.9%	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	予防接種に関する周知	母子保健事業等で乳幼児及び児童への周知実施。高齢者肺炎球菌は対象年齢への個別周知、医療機関へのポスター掲示などを実施した。			
	予防接種実施体制の整備	受診者が安全に予防接種を受けることができるよう、医療機関での個別接種体制及び接種間隔等の確認を行い、誤接種を防ぐ工夫をした。			
	感染症集団発生時に向けた消耗品備蓄	職員対応時用防護服、マスク、手袋等の備蓄を行った。			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	予防接種法に基づき定期予防接種は市町村義務である。平成28年4月から日本脳炎、10月からB型肝炎が追加された。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		町内での定期接種の感染症集団発生はなく、事業は効果的である。
	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		医療機関への個別接種委託により効率的に実施できている。また、周知等も他事業と併せて行う等接種率向上と事業費削減に寄与できた。
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由		高齢者肺炎球菌、高齢者インフルエンザは受益者負担がある。それ以外の予防接種は経済的負担がないよう費用負担は求めている。各種事業や広報、ホームページ等により町民に広く接種実施を周知し公平である。
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
日本脳炎の予防接種等接種数が増えた。地域における集団感染等の発生もなかった。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
平成29年定期接種の追加は予定されていない。今後も法律改正時には拡充等が必要となる。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止